

平成 29 年

消防団たずね歩き

「須磨消防団第 5 分団紹介」

須磨消防団第 5 分団は、分団長以下 17 名、年齢は 20 代から 60 代、職種も多岐に渡りそれぞれの特徴を生かした消防団活動を行っています。

市民救命士講習にも積極的に参加し、救急インストラクター資格保持者は 6 名を数え防災福祉コミュニティの集まりなどで指導にあたっています。

管轄する地域は、山陽月見山駅を中心に、東は天井川、西は離宮道、南は J R 須磨海浜公園駅、北は神戸女子大学、須磨離宮公園を含む須磨アルプスです。

今年は、念願であった老朽化した詰所の建て替えが、消防局、須磨消防署、地域の皆様のご理解ご協力のもとに平成 29 年 2 月 20 日に完了しました。そして 4 月 23 日に新詰所お披露目として開所式を行い、関係各位の皆様にご出席頂きました。なお、新詰所の概要は、敷地 38.68 m²、鉄筋造 2 階建延 43.05 m²で 1



階に小型動力ポンプ、資機材等を置き、2 階は分団会議等が行える団員待機場所となっています。

新しい詰所が地域の防災活動拠点としてその役割を果たして参ります。

また、今年は 10 月 29 日に市民防災総合センターで開催される第 13 回神戸市消防団小型動力ポンプ操法大会に須磨消防団を代表して出場することが決まり、6 月 25 日に発隊式を行い団員一丸となって訓練に励んでいます。



平成 29 年は、須磨消防団第 5 分団にとって詰所建て替え、小型動力ポンプ操法大会出場と新たなスタートの一年となりますが、消防団活動の原点を忘れず、謙虚に日々の活動を大切に参ります。

これからも地域の皆様のご期待に添えるよう努力して参りますのでご支援賜りますようお願いいたします。

(須磨消防団第 5 分団 藤原英喜)